

いわもみ

発行所 岩室村役場
印刷所 巻・北洋印刷K.K

No.88

休日にケガしたら

8月3日	吉田町	吉田県立病院	3-3131
10日	巻町	巻町立病院	2-3111
17日	吉田町	吉田県立病院	3-3131
24日	分水町	本間医院	2350
31日	巻町	桑原医院	2-2221

時間を守ろう

「我が子を水難から守ろう」学校教育の中に水泳を取り入れ、あすの岩室村々々を築く健康な明るい児童を、育成しなければならぬと、岩室小学校の父兄、学区民はプール建設の重要性を痛感、地域住民に呼びかけた。それらの呼びかけは大きな輪となって広がり、「住民の手による施設づくりは、財政難の村行政を動かし、総工費、一千九十五万円を投入し、七コース二十五メートルプールを完成した。この住民の手による施設づくりによって完成したプールで学校、社会体育に大きな貢献を果たすものと期待されている。」
また和小平は浄化装置やプールサイドハウスがなかったが、五百九十五万円を整備され、一日プール開きを行なった。
これらのプール完成を記念して、岩室、和納、間瀬の三小学校は八月二十九日、岩小プールで、第一回三小学校親善水泳大会を開く。

岩小の喜びのプール開きを十五日行なった。プールサイドにおいて修破式後、横山村長の手によつて、プールのテープに、鉄が入れられ切つて落とされ。暖間プールサイドの児童と父兄から大きなよろこびの拍手がわいた。つづいて、県立新潟南高生により、模範演技、児童代表の水泳はじめが行なわれた。指導方針に綿密な計画が立てられ、このプールは一般村民にも

水、しぶきも高く

ワァーできたぞ、ぼくらのプール—岩小

我が子らにプールを

住民こそつて施設づくり

の感が多分にあるが、過去、学校の支障のない、夏休みの本村行政は次代への飛躍の基礎建設の確立を宿命とされてきた関係上、遂に延々といたし今に至つたが、今後も、住民の幸せのためなら、積極的な村政をやつていきたいとあいさつした。

総工費、一千九十五万円を投入、プール構造長さ二十五メートル、巾十三、六メートル、七コース、水量三〇七附属設備も郡内一を誇りプールサイドハウス、八十三㎡には、循環装置機械室更衣室、管理室、用具室、男女便所も設置されている。学校当局は年間水泳可能日数、五十日の計画



テープに鉄を入れる横山村長（岩小プール）

和小平も

サイドハウス・浄化装置完成

和小平も地区住民の「我が子らにプールを」という熱意で昭和三十六年建設された七コース、二十五メートルプールで、附属設備は、洗眼シャワーだけのさびしいものだった。そこで本年度五百九十五万で、循環浄化装置、更衣室等のプールサイドハウスの整備を行なった。十六日プール開きを行なった。式典の全校児童の父兄に対する「よろこびのコール」もみなさんありがとう、は大きく会場にひびいた。

「これからは、いつも、きれいな水に泳げる」と関係者は大よろこび。



（きれいな水でしぶきも高く泳ぐ和小児童）

三富さん（樋會）

西保育所のよい子らに プールをプレゼント

大字樋會部落の三富善雄さんを甲した出た。んは、西保育所に、幼児の縦五・四・横三・六水深ときから、水に親しませたい。〇・五のプール、七月二位の向上と水に対する指導、十三日よりこのプールの訓練のためつかつて下さい。と幼児用プール一式の寄贈を行なった。